

地域経済の活性化を図る お買い得商品券助成金計上



行政報告

◇高齢者叙勲・春の叙勲

本町から元町議会議員の市川正一郎氏が「高齢者叙勲」を受賞されました。市川氏は、昭和59年3月に初当選以来、総務委員長を歴任されるなど、平成8年3月までの連続3期12年にわたる町議会議員としての功績が認められ、本年4月1日、地方自治功勞により「旭日単光章」を受賞されました。

春の叙勲では、前藤里町消防団長の淡路龍美氏が消防功勞と

6月定例議会在が6月21日から24日までの4日間にわたり開催され、株式会社藤里開発公社の経営状況報告や、一般会計補正予算など上程された13案件について原案どおり可決されました。

して「瑞宝単光章」を受賞される旨、伝達されています。淡路氏は、昭和48年6月入団後、第二分団長を経て、平成14年4月から消防団長を歴任、平成22年3月31日の退職まで37年間の消防活動が認められての受賞です。お二方の受章に対し、改めて心から敬意とお祝いを申し上げます。

◇交通死亡事故ゼロ

3500日達成

本町は、平成13年8月26日から交通死亡事故ゼロを続けていますが、本年3月26日にゼロ記録3,500日を達成し、4月15日秋田県知事と県警察本部長より表彰を受けています。これも、交通指導隊や交通安全協会など、関係機関・各種団体のご協力をいただきながら事故撲滅に向けた活動の成果であり、改めて感謝と共に、引き続き事故のない「安全・安心な町づくり」に努めてまいりたいと考えています。

◇東北電力(株)からの 街路灯寄贈について

本年1月、同社能代営業所より街路灯寄贈の申し入れがあり、これを受けました。東北電力では「快適さ・やすらぎ・うるおい」のある、明るく・住みよい街づくりと安全・防犯の面から、街路灯の寄贈活動を展開しており、管内4市町の輪番により平成22年度は、本町へ寄贈申し入れとなりました。申し入れは20基程度ということでしたが、最終的には18基の寄贈となりました。3月11日の大震災により、途中作業中断となっていました。再開後5月26日には全ての取り付けを終えています。取り付け箇所は、新規分として清水岱地区に2基、更新分として藤琴川反地内に6基、矢坂バス路線に3基、粕毛バス路線に3基、このほかの4基を含め16基となっています。

◇水田の作付配分枠

今年の稲作については、天候の不順により播種が平年より遅く、低温で経過したことから草丈が短く、日照不足による苗質が心配されましたが、田植え後は水不足等の発生もなく順調に

経過したところです。水田の作付配分枠ですが、米の需要調整と市町村格差是正による作付面積27haの減少分については、加工用米と大豆の作付拡大で対応することにしていましたが、これを加工用米では昨年より19ha、大豆で10haをそれぞれ増とすることで、ほぼ計画に沿った配分としています。これにより、加工用米を含む平成23年度の水稲作付面積は、520haとなり、飯米分の16.3haを除き、契約米では、454.4ha、60kg単位で40,637個、加工用米では、49.3haで4,645個となつています。なお、本配分の前に「東日本大震災」による作付面積調整実施のための聞き取りがありました。県間調整の単価が入札による単価に方針が変わった事から、町が定めた10a当たり23,000円の「地域とも補償」単価内での落札に保証がなく、各農家の営農計画が確定している時期でもあり、混乱を招く事態も予想されたので調整には参加しませんでした。

◇国民健康保険税の税率

今年度の医療費については2%程度(前年度3%)の伸びが見込まれる一方で、経済の低迷